

令和5年度 田園の里 新田学園 評価書

【4段階評価】 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

◎ 本年度の重点目標 キャリア教育を学校教育の基盤に位置付け、「夢や希望」「継続と挑戦」「学力・体力の向上」を取組の柱として、学校の教育目標「夢や希望をもち、心豊かにともに伸びゆく

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	評価		
				指標別	総合	
夢や希望	を学ぶ目的や成長に必要な学びを自覚し、自分の生き方を考える教育活動	自己理解、他者理解の機会の推進	自分の良さや友達の良さが言える児童生徒100%をめざす。	良さを褒めたり、良さに目を向けた肯定的な言葉かけを行ったりすることで、自己肯定感の育成を図る。	3.1	3.2
				友達の良さを知り、認めることで、互いに刺激し合いSWPBS（ポジティブな行動支援）の視点を取り入れ、切磋琢磨できる人間関係の形成を図る。	3.6	
	地域の良さの実感と学校での学びを社会とつなぐ機会の充実	全学年で地域について学ぶふさと学習を位置付けることをめざす。	地域の施設や人材等を活用した学習を行うことで、SDGsの授業の充実を図り、地域のよさを実感するとともに学校での学びと社会生活との関連への気付きを促す。	3.1		
	進路や生き方、将来に対する夢や希望について考える機会の設定	生き方や将来の夢や希望について考えている児童生徒90%以上をめざす。	高校説明会や職業講話、職場体験学習等を教育課程に位置付けることで、将来に対する夢や希望をもたせるとともに生き方について考え、進路選択についての意欲付けを図る。	2.8		
継続と挑戦	す教育活動できる環境を整え、挑戦する過程で成長を実感し、	規範意識の醸成と凡事徹底	挨拶、返事、整理整頓ができる児童生徒80%をめざす。	凡事徹底の項目を挨拶、返事、整理整頓に絞って指導し、当たり前のことを当たり前継続して実践することの意識化を図り、規範意識を醸成する。	3.1	3.2
		成長の実感と学校に対する誇りの育成	継続したり挑戦したりする経験を通して自己の成長を実感する児童生徒100%をめざす。	ステージや学部の先輩の姿に憧れをもち、その姿に近づくために挑戦を継続する過程で、見届けと励ましの言葉かけを組織的に行い成長を実感させ、継続と挑戦を促す環境の充実を図る。	3.3	
		いじめ防止と不登校への組織的対応	いじめ認知100%、解決に向けた対応100%をめざす。	毎月のいじめアンケート結果や問題行動等に関する情報を共有することでいじめを認知するとともに、いじめ不登校・校内支援委員会で慎重かつ迅速な対応を協議し、いじめの解決をめざす。	3.6	
			不登校対応の組織を生かした支援100%をめざす。	学級担任や養護教諭、特別支援教育コーディネーターをはじめ、外部専門家であるSC、SSW等の支援を含めた組織を強化し、支援や相談体制の充実を図る。	3.1	

	さらに高みをめざす	時間管理と健康管理ができる職員の育成	リフレッシュデーの100%実施をめざす。	毎週火曜日をリフレッシュデーとすることで、時間外勤務時間の削減に努める。	3	
			ストレスチェック100%をめざす。	ストレスチェックを6月と12月に実施することで、心の健康の意識化を図る。	2.8	
学力・体力の向上	上を職員の授業力と生徒指導力向上による確かな学力・体力の向上	確かな学力の向上	単元テスト80%以上、諸テストにおいて全国平均、県平均以上をめざす。	①めあてとまとめの整合性のある指導、②指導内容の精選、③実態の把握、④発問の精選と読解力の視点を意識した授業を行うことで、学力向上に迫る。	3.4	3.1
		読書環境の充実と読書の推進	発達の段階に応じた読書冊数を達成する児童生徒80%以上をめざす。	新刊図書の紹介をしたりファミリー読書週間を設けたりすることで、読書に親しむ環境づくりを行い、読書活動を推進する。	2.5	
		家庭学習の充実	宿題の提出率90%以上をめざす。	発達の段階に合わせ、家庭学習の質を高める事例を紹介することで、家庭学習への関心を高め充実を図る。	3.1	
		体力の向上	柔軟性と持久力向上のための運動の実施率80%以上をめざす。	柔軟性と持久力の課題に対応した運動を推奨することで、児童生徒の体力の向上に努める。	3.3	
		生活リズムの向上	「新田学園ネットルール」を守っている児童生徒80%以上をめざす。	「新田学園ネットルール」を活用し、自己の生活を振り返らせたり、教育相談を行ったりすることで、児童生徒の意識化を図り、生活リズムの向上を図る。	3	
		効率的な部活動の運営	週当たり2日の休養日の100%実施をめざす。	「新田学園部活動の基本方針」に則り、部活動休養日を完全実施することで、メリハリのある効果的な部活動運営に努める。	3.3	